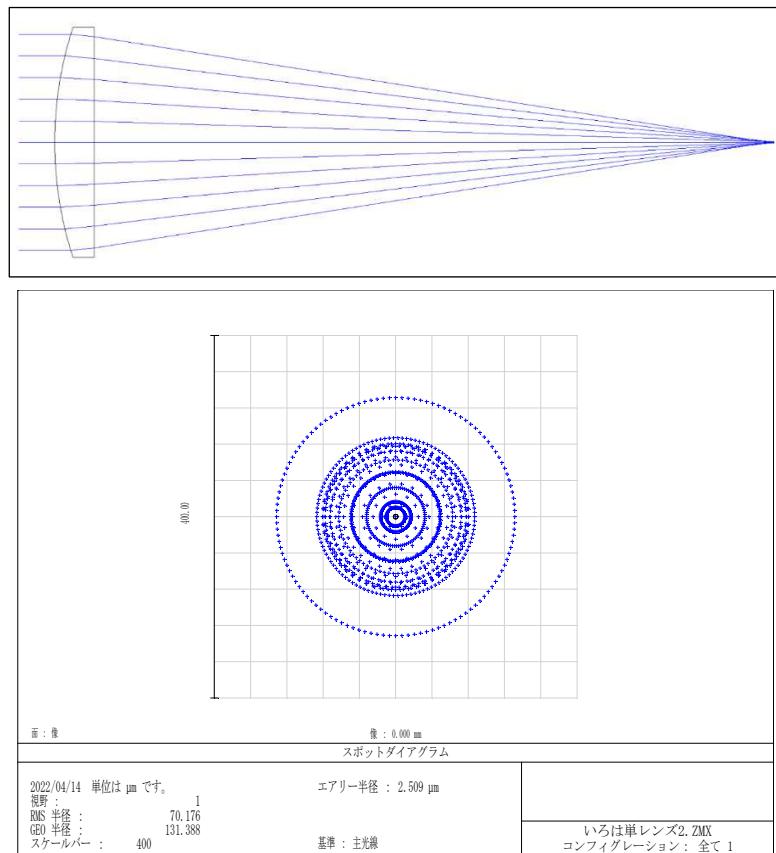
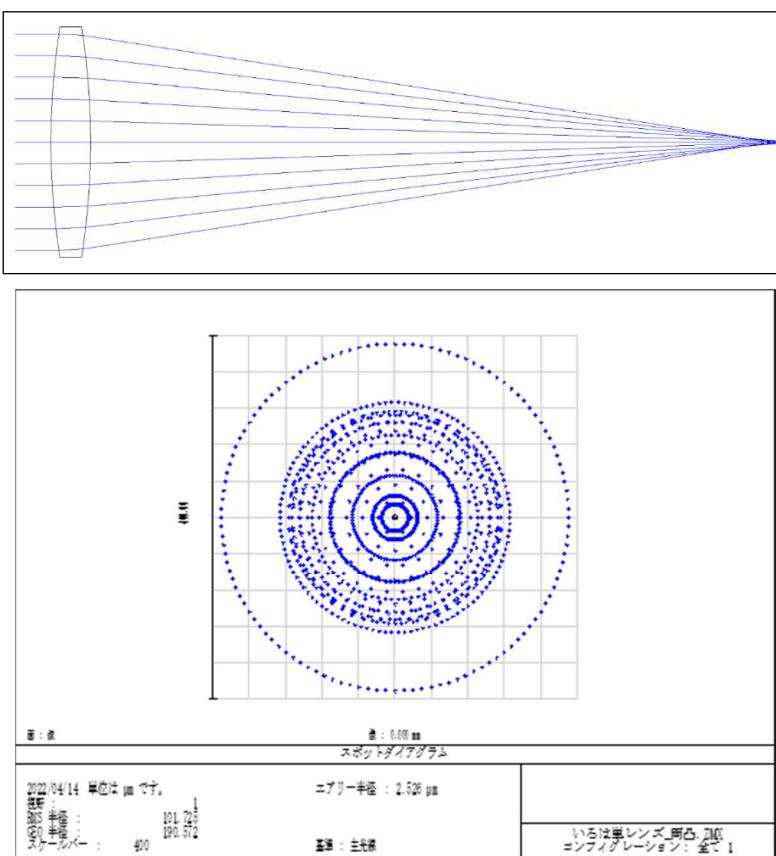


スポットダイアグラム

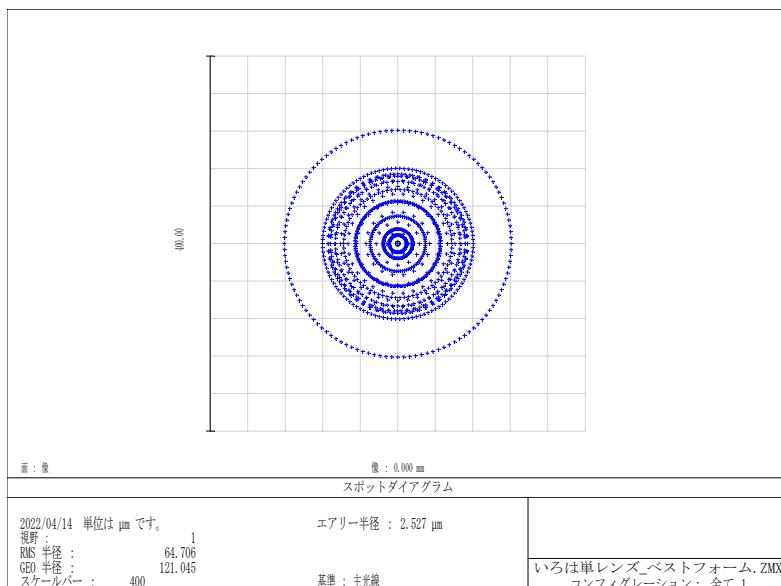
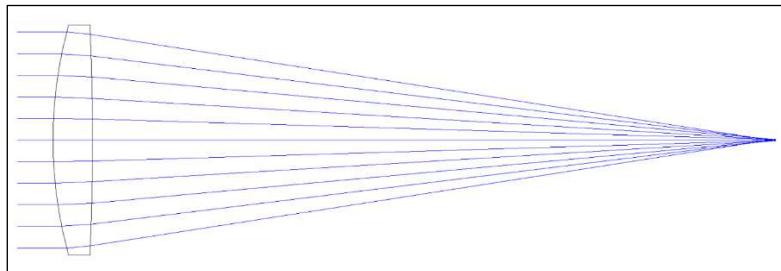
<平凸レンズ>



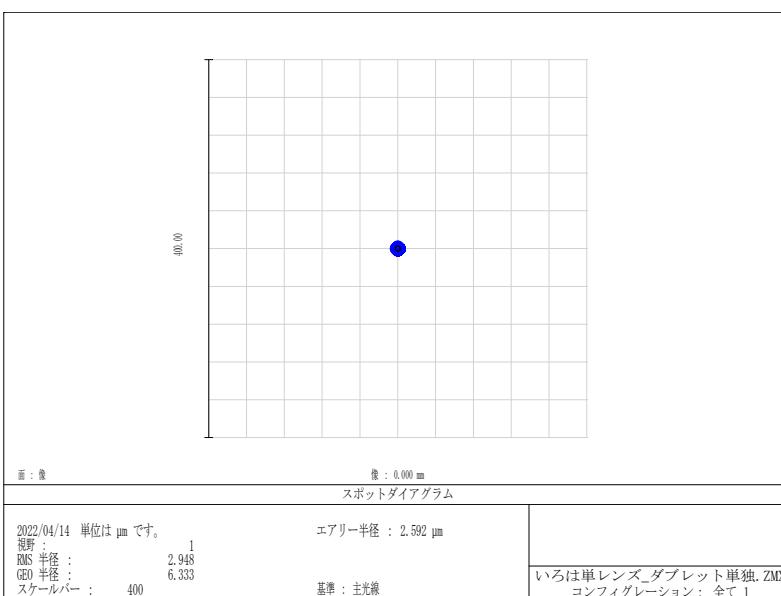
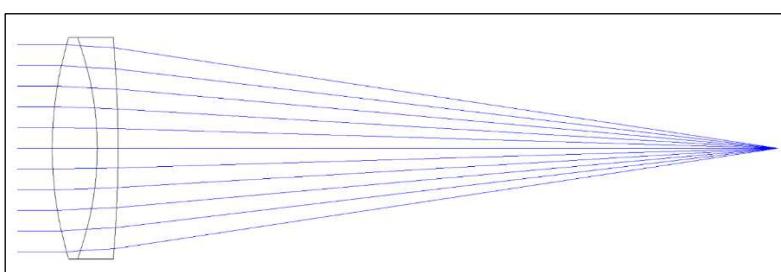
<両凸レンズ>



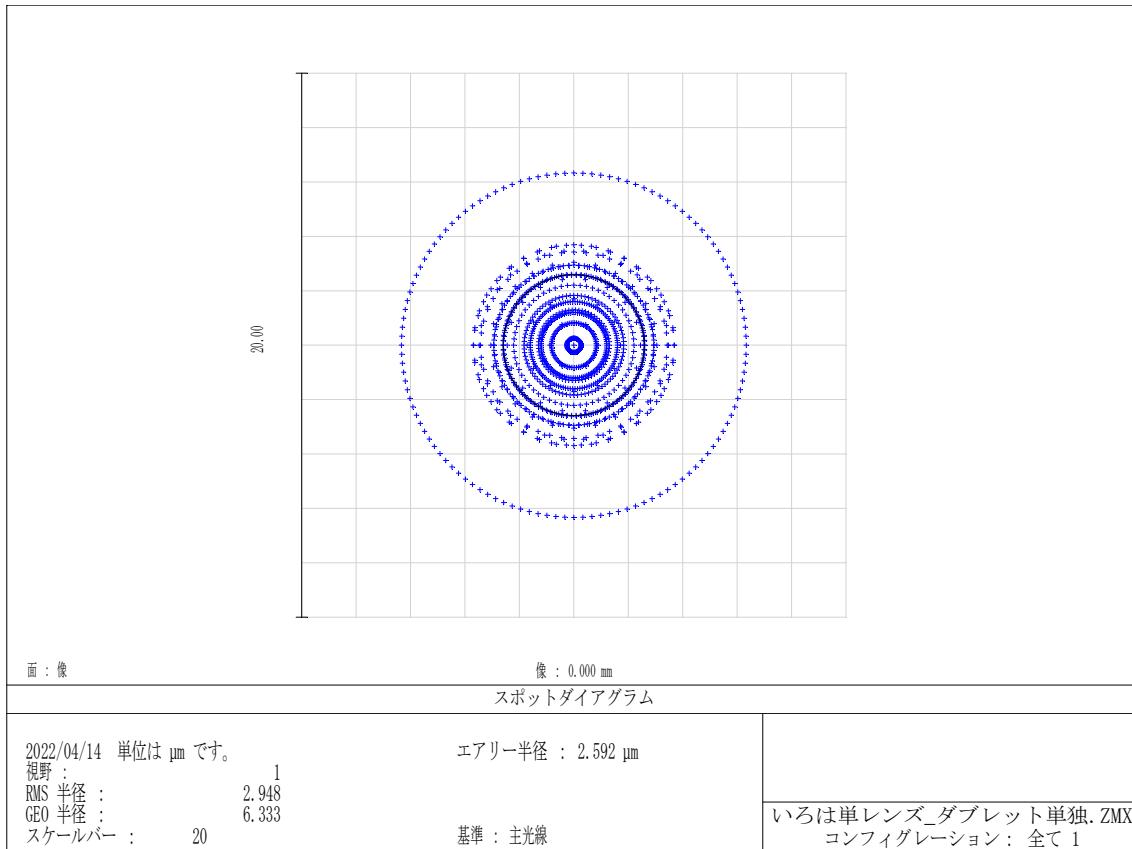
<ベストフォームレンズ (=単レンズにおいて光軸上の像点で最良なレンズ形状) >



<ダブレットレンズ>



以上のスポットダイアグラムは、尺度（最大スケール=400 μm ）を統一したもので、当然ですが光線の散らばり具合の小さい方が性能（収差）が良いレンズです。単レンズでは、ベストフォームレンズや平凸レンズがいいことが分かります。これに対して、ダブルレットレンズは断トツの性能を持っていることが分かります。ダブルレットレンズについては、表示の尺度（最大スケール）をもっと拡大したのが、次に示すものです。表示の尺度（最大スケール）は、これまでの「400 μm 」から「20 μm 」と 1/20 になっています。



このように、光学設計ソフトはミクロンオーダーまでの非常に正確な光線追跡を行い、より良い性能のレンズ（光学系）が設計できるツールになっています。